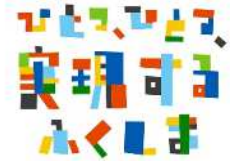


主要な農作物の生育情報



令和6年度 第7号

(令和6年10月9日現在)

福島県農林水産部農業振興課

【作物】

1 水稲（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

出穂期以降の高温により登熟が進み、コシヒカリの成熟期は、本部（郡山市）では9月12日（平年差 -11日）、会津地域研究所（会津坂下町）では9月10日（平年差 -7日）、浜地域研究所（相馬市）では9月14日（平年差 -10日）と早まりました。

稈長は平年並からやや長くなりました。このため、会津を中心に9月上旬よりひとめぼれ、コシヒカリでは倒伏が発生し、周期的な降雨により倒伏程度が大きくなっています。

県内の刈取始期（5%到達）は9月17日（平年9月25日）と早まりました。9月30日現在、刈取進捗は32%（昨年33%）となっています。

表1 水稲主要品種の稈長、穂数、成熟期と登熟日数（農業総合センター）

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	稈長 (cm)	穂数 (本/m ²)	成熟期 (月.日)	登熟日数 (日)
本 部	ひとめぼれ	5.15	81.0 (100%)	497 (99%)	9.5 (-8)	37 (-4)
	天のつぶ	5.15	70.5 (100%)	411 (91%)	9.8 (-6)	38 (-2)
	コシヒカリ	5.15	90.0 (97%)	379 (90%)	9.12 (-11)	38 (-5)
会津地域 研 究 所	ひとめぼれ	5.21	91.5 (102%)	557 (99%)	9.6 (-6)	38 (-6)
	天のつぶ	5.21	79.1 (105%)	471 (93%)	9.9 (-4)	38 (-5)
	コシヒカリ	5.21	101.7 (106%)	467 (103%)	9.10 (-7)	38 (-5)
浜 地 域 研 究 所	ひとめぼれ	5.10	95.3 (105%)	583 (108%)	9.4 (-7)	40 (-2)
	天のつぶ	5.10	77.6 (104%)	526 (104%)	9.12 (-8)	46 (-3)
	コシヒカリ	5.10	101.8 (103%)	477 (111%)	9.14 (-10)	42 (-4)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は、前5年平均（2019～2023年）との比較を表す。稈長と穂数は、前5年平均に対する比率、成熟期と登熟日数は前5年平均との日数差。

【野菜】

1 秋ブロッコリー

降雨の影響により、定植は平年よりやや遅い9月下旬に概ね終了しました。定植後の生育は順調で、収穫は10月中旬頃から始まる見込みです。

病害虫は、一部で黒すす病やヨトウムシ類等が発生しています。

2 秋冬にら

夏季の高温や連日の降雨により、葉幅が狭く徒長するなど、株養成が十分でないほ場が多い傾向にあります。10月上旬より捨て刈りが行われ、10月下旬から収穫が開始される見込みです。

病害虫は、アザミウマ類が見られ、さび病が平年より多く発生しています。

3 いちご

高温により、普通育苗の花芽分化は平年より7日程度遅れており、定植作業は9月中下旬から行われました。

病害虫は、一部のほ場でハスモンヨトウや炭そ病が発生しています。

4 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型は13段を収穫中です。南会津地方の5月下旬定植の作型は8～10段を収穫中で、摘芯作業は平年並の9月中旬に終了しています。夏季の高温により、生育は平年よりやや進み、着果量が少なく、小玉傾向となっています。

病害虫は、青枯病やすすかび病、コナジラミ類、ヨトウムシ類が発生しています。

【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における10月1日現在の生育概況）

1 なし

(1) 収穫期と果実品質

「あきづき」の収穫盛期は9月16日で平年より12日早く、昨年より5日早くなりました。果実の大きさは482gで平年並、糖度は13.3° Brixで平年並でした。

「ラ・フランス」の収穫盛期は9月30日で平年より4日早く、昨年より3日遅くなりました。果実の大きさは390gで平年より大きく、収穫時の糖度は14.2° Brixで平年より高くなりました。

2 りんご

(1) 果実肥大

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が81.1mm（平年比101%）、横径が87.1mm（平年比100%）と平年並の状況です。

満開後日数で比較すると、平年並となっています。

(2) 成熟状況

「ふじ」の満開後158日（9月27日）における成熟調査の結果は、果実硬度が12.9ポンドと平年より低く、糖度は12.5° Brixで平年並、リンゴ酸含量は0.46mg/100mlで平年より高く、デンプン指数が2.9と平年より低くなっています。果皮中クロロフィル含量が平年よりやや低く、果皮中アントシアニン含量が平年よりかなり低い状況です。

※りんごのデンプン指数:指数1～5で評価し、数値が高いほどデンプンの消失が進んでいます。

【花 き】

1 ストック

年内出荷の作型は、定植作業が完了し、その後の生育も順調に進んでいます。

害虫では、コナガの発生が例年より多く見られています。

2 キク類

10月咲きの生育は、順調に進んでいますが、一部の品種で草丈の低い様子が見られます。9月下旬時点で概ね発蕾が確認されています。

害虫は、アブラムシ類、ハダニ類の発生が見られています。また、オオタバコガによる食害も引き続き発生しています。

【飼料作物】

1 牧草

9月下旬から3番草の収穫が行われています。天候不順により2番草の収穫が遅れた地域では、今後3番草の収穫作業が始まる見込みです。

2 飼料用トウモロコシ

ほとんどの地域で収穫作業が終わり、収量は平年並です。

3 W C S用稲

9月下旬までにほとんどの収穫が完了し、収量は平年並です。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

降雨が多くなっている地域では、地盤が緩み、崩れやすくなっているところがありますので、ほ場点検を行ってから作業を開始しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>